



結核かどうかはどのように確かめればよいの？

検査を受ければわかります

結核は、早期発見・早期治療が大切です。下記のような症状が長く続いたら、「カゼかな?」と軽く考えず、結核検査を受けましょう。

- 2週間以上咳が続いている
- 痰に血が混じる
- 微熱が続いている
- 体重が落ちた



- 胸部X線撮影
早期発見に役立ちます。年に1度は受けるようにしましょう。
- 採血検査
インターフェロンガンマ遊離試験(フォンティフェロン・T-SPOT)は、昔のツベルクリン反応と同じで結核に感染しているかどうかを診断します。
- 喀痰検査
喀痰材料[※]をガラス板に塗って、染色液で染められた結核菌を顕微鏡で探す塗抹検査と、喀痰材料を栄養分のある培地にまいて菌の発育を見る培養検査と、喀痰材料に結核菌の遺伝子があるか見る遺伝子増幅同定検査を組み合わせで診断します。

※検査に使用するために採取する痰



もしも 結核にかかっていると発覚したら 服薬治療

6~9ヵ月、薬を飲み続けることで治療することができます。しかし、自分の判断で服薬を中断すると、結核菌が薬に耐性を持ってしまい、症状の悪化を招きます。これを防ぐため、病院や薬局では「DOTS」という手段が用いられています。

DOTSとは…医療従事者が、結核患者が薬を飲むのを毎回見届けること。薬の飲み忘れ・中断を防ぐ有効な手段とされています。



※結核の治療は、公費負担医療制度によって入院費用がカバーされ、外来費用もその多くが助成されます。詳しくはお住まいの地域の保健所にお問い合わせください。

早期発見、早期治療、そして治療を中断しないことが重要です!



見過ごさないで!

長引くその症状 結核 かもしれません



監修/結核予防会榎十字病院副院長
尾形 英雄

もう2週間
咳が止まらない

痰に血が混じる

体重が落ちた

微熱があって
だるい

えっ
結核!?



福島市保健所



植物油インキを使用しています。
HK18002



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。

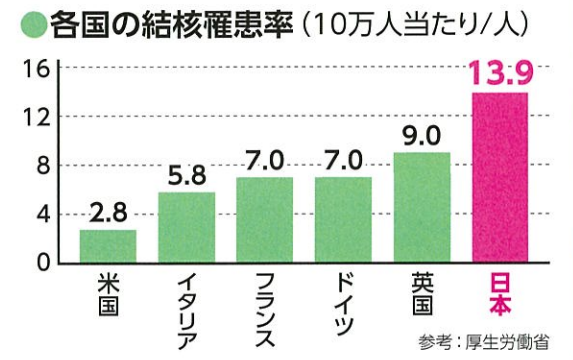
禁無断転載 ©ライズファクトリー

結核への無関心や誤解が 感染を拡大する!?

結核って昔の病気でしょ? 今でもかかったりするの?

結核は現代の感染症です!

1950年まで、結核は日本人の死亡原因の第1位でした。抗結核薬等の服薬で治療できるようになったこともあり、「昔の病気」のイメージが強いですが、放置して重症化すれば死に至ることに変わりはありません。今もなお、1年間に約18,000人の新たな患者が発生し、1日に約5人が亡くなっています。世界的に見ても、日本は決して蔓延率が低いとは言えません。
無関心や誤解によって感染を拡大しないためにも、結核について正しく知っておきましょう。



どのように感染するの?

肺結核患者のくしゃみや咳によって、空気中に飛び散った結核菌を吸い込むことで感染します。

結核菌は、人が密集しているところや、狭い室内、換気の悪い場所で感染しやすいため、都市部での流行が多く見られます。
 ※全ての結核患者が結核菌を排菌するわけではありません。

こんな場所に注意して!

- 学校、職場など
人が集まっているため、たびたび集団感染が報告されています。
- 介護施設など
高齢者は免疫力が低下しているため、感染・発病しやすくなります。
- ネットカフェ・パチンコ店・カラオケ店など
不特定多数の人が密集する場所は特に注意が必要です。

咳エチケットを心がけましょう!

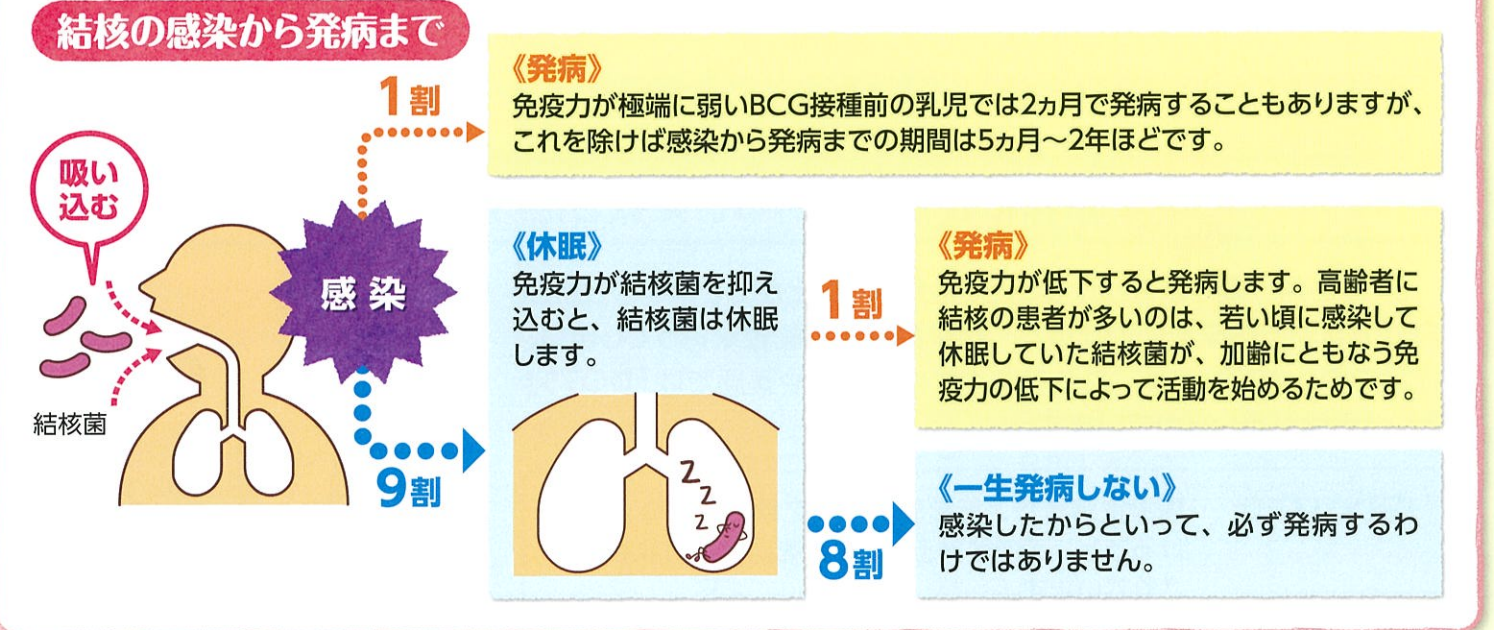
結核に限らず、感染症の予防に効果があります。

- 咳やくしゃみが出たら、マスクを正しく着用する。
- マスクを着用していない場合、咳、くしゃみのときは顔を背けてティッシュや上着の袖で覆う。
- 使用済みティッシュは蓋つきのゴミ箱へ。

感染するとすぐに発病するの?

発病までに長い期間を要したり、発病しない場合もあります。

結核菌に感染しても、すべての人が発病するわけではありません。多くの人は免疫力が勝って発病を免れ、結核菌は、体内で休眠状態になります。しかし、若くても弱い免疫力しかないと、結核菌が増殖して発病してしまいます。肺結核の場合は、肺の病巣が広がると咳が出るようになって、結核菌を含むしぶきを飛散させて周囲の人に感染させるようになるのです。
 ※結核菌は肺だけでなく全身のさまざまな器官を侵します。



発病させないためにはどうしたらいいの?

免疫力がしっかり機能すれば、感染しても発病を抑えることができます。

免疫力を低下させないためには、規則正しい生活を心がけることが大切です。食事や睡眠などの生活習慣をふり返り、改善できそうなことがあれば積極的に取り組んでいきましょう。

免疫力を高めるには

- バランスのよい食事を
- 質のよい睡眠を心がける
- 適度な運動を継続して行う
- 禁煙し、アルコールはほどほどに

☆ 赤ちゃんが生まれたら、BCGワクチンを接種しましょう。→ 生後1歳未満で予防接種を受けます。